

10/4/2006  
Ver. 2.00

## 「環境マネジメントシステム」 という考え方

日時：  
教室：

### 第二回講義

# 第三者認証と認定

## －第一回講義スライドの補論

†:このマークが付してある著作物は、第三者が有する著作物ですので、同著作物の再使用、同著作物の二次的著作物の創作等については、著作権者より直接使用許諾を得る必要があります。

北海道大学公共政策大学院  
倉田 健児  
kurata@hops.hokudai.ac.jp

# このマークを知っていますか-1 (たぶん見たことがあるはず)



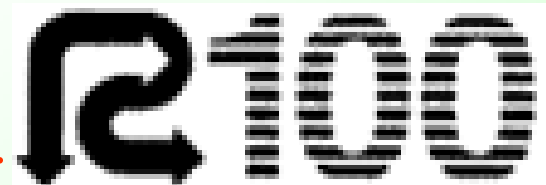
制限資料



制限資料



制限資料

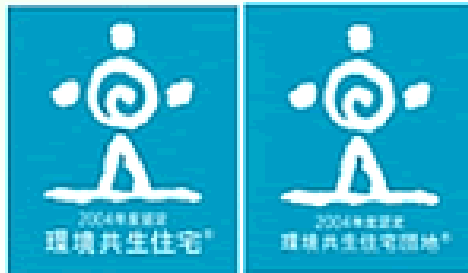


制限資料

著作権処理の都合で、  
この場所に挿入されていた  
『燃費基準達成車マーク』  
を省略させていただきます。

# このマークを知っていますか-2 (知っていたらかなりの環境通?)

著作権処理の都合で、  
この場所に挿入されていた  
『間伐材マーク』  
を省略させていただきます。



制限資料



制限資料



制限資料

このロゴはPEFC評議会許可を得て使用しています

持続可能な森林管理の促進:  
詳細は[www.pefcasia.org](http://www.pefcasia.org) を参照

© kenji kurata 2006



制限資料

©1996 Forest  
Stewardship Council A.C.



制限資料

# このマークを知っていますか-3 (海外版、結構有名)

著作権処理の都合で、  
この場所に挿入されていた  
『エネルギースターマーク』  
を省略させていただきます。



制限資料

著作権処理の都合で、  
この場所に挿入されていた  
DER BLAUE ENGELのマーク  
を省略させていただきます。



# 環境ラベルが機能するのは……

- 人々がラベルの存在を知り、
- ラベルの主張を認識し、
- その主張に同意し、
- ラベルが正しく貼られていると信用し、
- ラベル貼附の有無で購買行動を変えるから
- または、その有無で組織（企業）の評価を変えるから

# 「信用」はどのようにして……

- まず、満たすべき何らかの「基準（規格）」を定めて、
- 「製品」、「組織の行動」などがその「基準（規格）」に適合しているかを審査し、認証（適合性評価）
  - 自己適合宣言
  - 取引先が審査
  - 第三者機関が審査（第三者認証）

# 「信用」のしくみ－第三者認証

